

三福海苔株式会社

<https://www.noridouraku.com/>



1971年に日本一の海苔生産地で創業
「ものづくりの原点は、素材の見極めにあり」のコンセプトのもと、生産者に頻繁に足を運び、交流を通して高品質の佐賀海苔を見極め、加工・販売を営んでいる



所在地：佐賀県佐賀市川副町犬井道1672
設立：1971年
事業内容：海苔の加工・販売

/ SAGA COLLECTIVEとの出会い

- 2017年 佐賀県内で海外輸出・販売を視野にいれている企業の異業種グループに参加
- 2021年 5年間のグループ活動の意義を見直し、持続可能な異業種グループ「SAGA COLLECTIVE協同組合」として法人化

ビジョン：「地域の環境を守り、未来の産業を守る」
使命：「地域の力（自然、伝統、技術、コミュニティ）を次に繋げる」
「安心して継承する舞台を整える」

行動指針：「エシカル」（倫理的な）地球にやさしい
人にやさしい
社会にやさしい

1社単位で取組むのが難しい
「地球にやさしい」をグループで取り組む

/ カーボンニュートラルの取組のきっかけ

海外販路を求めるにあたって欧州は「エシカル消費の意識が高い」との認識はあったが、特に意識はしていなかった

意識が変化したきっかけ
2022年以降 海苔の生産量が激減
・例年の生産量は約18億枚前後



・約9億枚超と半減

原因 地球温暖化による異常気象

- ・海水温上昇によるプランクトンの異常発生
- ・栄養塩不足
- ・降水量が変化することで海苔の色具合、旨味が定まらない 等

CO₂削減を意識し始める

/ 省エネ・カーボンニュートラルの取組

【把握】

CO₂排出量を計測

【削減】

CO₂削減に向け計画・実行

【相殺】

カーボンオフセット
J-クレジット活用

カーボンニュートラル
社会実現へ

カーボンニュートラル関連支援策活用事例：J-クレジット制度（購入者）

/ 支援策の活用効果

海苔の不作で環境に対する意識変化

↓
今、自分達ができる温暖化対策をしないといけない

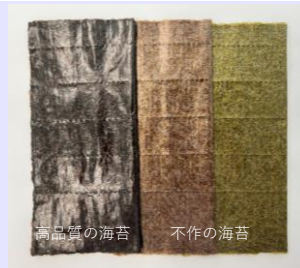
↓
CO₂排出量の把握と削減

- 取組**
- ・照明のLED化(2019年：工場・2021年：店舗)
 - ・冷凍庫の更新(2021年)
 - ・製造業務の効率化によりCO₂の排出量を削減

 CO₂排出量のカーボンオフセットを行うために
SAGA COLLECTIVEの一員としてJ-クレジットを購入

【クレジット購入ポイント】

単に購入してカーボンオフセットに取り組むのではなく、有明海的环境保全のため、有明海に流れ込む上流の山林や地元に由来するクレジットの購入にこだわっている



/ 今後の展開

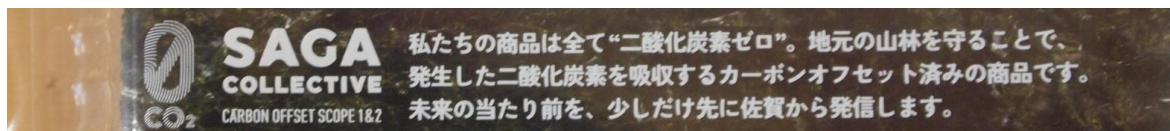


お話を伺った川原専務

海苔の不作で環境に対する考え方が他人事ではなく自分事になりました。その結果、電力も利用料金ではなく消費量やCO₂排出量を意識するようになりました。

現在、製造・資材管理に係るアプリ開発を進めていて、製造業務の効率化に取り組んでいます。また、自社ECサイトや商品パッケージにも自分たちの取組みを公表し、自然環境に対する取組を発信できるように進めています。

将来的には再生可能エネルギーの導入も検討しております。



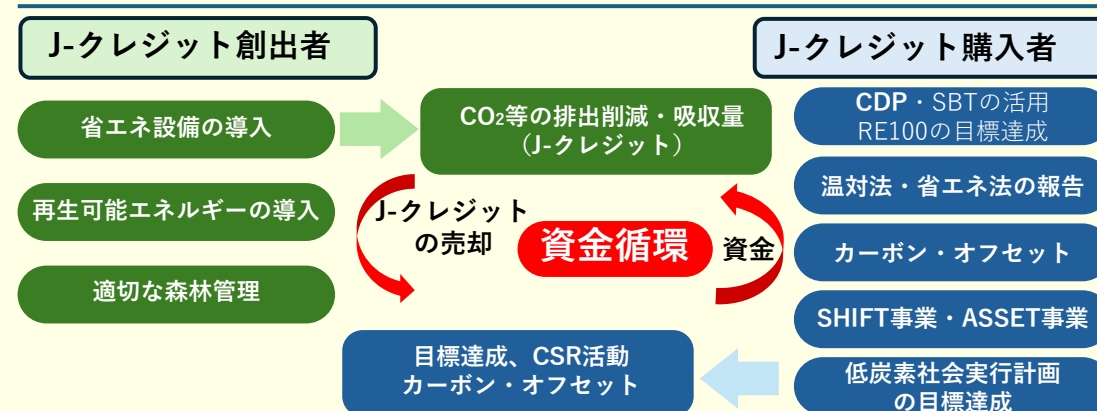
私たちの商品は全て“二酸化炭素ゼロ”。地元の山林を守ること、発生した二酸化炭素を吸収するカーボンオフセット済みの商品です。未来の当たり前を、少しでも先に佐賀から発信します。

/ J-クレジット制度（購入者）

<https://japancredit.go.jp/>

省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

J-クレジットの仕組み



J-クレジット購入者のメリット

環境貢献企業としてのPR効果

企業評価の向上

製品・サービスの差別化

ビジネス機会獲得
ネットワーク構築

/ SAGA COLLECTIVE協同組合

<https://saga-collective.com/>

佐賀県を代表する地場産業や伝統産業の異業種11社からなる協同組合

環境保全や地域社会への配慮を軸に、「地球にやさしい」「人にやさしい」「社会にやさしい」観点で、組合各社のCO₂排出量を測定し、削減に取り組んでいる。

削減しきれなかったCO₂は、地元の山や海を守るための支援で吸収する「カーボン・オフセット(CO₂排出量の相殺)」を行っている。